

選手の性格から読みとる指導方法に関する研究

-高校柔道選手を対象として-

森 香奈子 (競技スポーツ学科 コーチングコース)
指導教員 村田 正夫

キーワード：褒める, 叱る, 性格特性

1. 緒言

我が国において,平成23年8月にこれまでであったスポーツ振興法がスポーツ基本法に改正された.その中にはスポーツ選手の育成について言及されている.このことから指導者は,選手の育成において指導方法が問われてくると言える.

指導方法には,大きく分けて褒める指導と叱る指導が挙げられる.褒める指導とは①一つのことが上手くいったらその瞬間を見逃さずどこが良かったかを具体的に褒める②結果だけではなくプロセスも褒めるなどが挙げられる.一方,叱る指導には①選手の良くない言動をとがめ,強い態度で責める②声を荒立て,相手の欠点を指導するなどが挙げられる.例えば,男性には褒める指導,女性には叱る指導をとよく言われているが,男性と女性だけでは区別できない.選手には,褒められて伸びる選手と叱られて伸びる選手がいるため,指導者は一人一人の性格を把握した上で指導方法を考えていくとより良い選手の育成に繋がると考えられる.そこで本研究では,褒められて伸びる選手と叱られて伸びる選手の性格特性を把握するために YG 性格検査を活用し,高校柔道選手におけるより良いコーチングの方法を見出すことを目的とする.

2. 研究方法

本研究の調査対象は,滋賀県内の高校柔道選手に対し,学年・競技歴・成績などに関係なく,男子2校15名と女子5校15名の30人を対象とした.研究方法は,YG性格検査用紙を実施し,集計・分析する.

3. 結果と考察

男子選手は,5類型のうち概ねC型とD型の二つに分類ができ,C型の選手は,誰とでもよく話し,社会的・対人的接触を好む傾向が見受けられる.

加えて,自信がなく劣等感に悩まされるところや自己卑下が強く,事なかれの行動をとる性質であることが分かった.次にD型の選手は,誰とでもよく話し,社会的,対人的接触を好み,仕事が早く自信に満ちたりた心境が伺えるが,他人に気を遣い過ぎる性質があることが分かった.女子選手は5類型のうち概ねB型とC型とD型の三つに分類でき,B型の選手は社会的,対人的接触を好み,劣等感のない自信に満ち足りた心境が伺える.しかし,憂鬱になったり不安になったりなど陰気な悲観的気分になる性質があることが分かった.C型の選手は,友人関係が良く周囲とも善意協調的で,精神的にもイライラせず,満ち足りた心境が伺えるが,自信がなく劣等感に悩まされるなど,過小評価傾向な性質があることが分かった.D型の選手は,気が変わりやすく,イライラするなど神経質・感情的であり,口答えしたり攻撃的な行動をとったりする性質があることが分かった.

4. まとめ

本研究の調査により,C型とD型の男子選手には褒める指導,B型とC型の女子選手にも褒める指導を行うことにより,選手に自信をつけさせることができ,競技力も向上するのではないかと推察される.一方,D型の女子選手は,すぐにうろたえたり,落ち込んだりする性格特性ではないため,叱る指導を行うことにより,やる気を出させることに繋がるのではないかと推察される.今回の研究では,YG検査を活用し見極めているが,その他にも保護者や当時の指導者と連携することで,より良い指導を確立することができると考えられる.

引用・参考文献

・コーチと教師のためのスポーツ論 関岡康雄
道和書院(2006)